

京都・土庄 むすびわざ大学

京都産業大学と土庄町の1日キャンパス開催!

講演会のご案内 お申し込み方法は、裏面をご確認ください

土庄町と京都産業大学を“むすんで”、新しいものを“うみだす”※「京都・土庄むすびわざ大学」は今年度、講演会と子ども向けの催しを実施します。参加無料ですので、皆様、お気軽にご参加ください。

包括連携協定について

土庄町と京都産業大学は平成27(2015)年11月、連携協力に関する包括協定を締結しました。大学が有する幅広い教育・研究を通じて、相互の人的・物的・知的資源を活用し、地域振興やまちづくりの推進・文化・教育の振興など、地域社会の発展と人材の育成を図っています。 ※京都産業大学の「産業」は、“むすびわざ”という読み由来し、“うみだす”という意味を持ちます。

令和5年11月26日 日

12:45-15:00 (開場・受付 12:00~)

参加
無料

事前
申込制

場所: 土庄町立中央公民館 大ホール (香川県小豆郡土庄町甲620番地)

定員: 400名(全席自由) 受講料: 無料

ご挨拶
12:45~

岡野 能之、黒坂 光

(土庄町長)

京都産業大学 学長 (生命科学部 教授)

講演 1
13:00
~
13:30

新型コロナウイルス感染症と対策: これまでと今後の展望

くろさか あきら

講師: 黒坂 光 京都産業大学 学長 (生命科学部 教授)

略歴: 大阪府出身。1981年京都大学薬学部製薬化学科卒業、86年同大学大学院薬学研究所製薬化学専攻博士課程修了。

同年より京都産業大学で講師、助教授、教授を歴任。2013年京都産業大学総合生命科学部長、17年副学長を経て、20年10月より現職。薬学博士(京都大学)。大学コンソーシアム京都理事長

要旨: 新型コロナウイルス感染症は5類になり、感染症対策は個人の判断に委ねられるようになりました。コロナ感染に対するこれまでの予防対策の効果、変異株の出現とその影響、ワクチンの有効性などについて検証し、感染症が今後の社会に与える影響について考察します。



休憩

講演 2
13:45
~
15:00
質疑応答含む

地域文化遺産の活用と地域活性化

いしかわ としお

講師: 石川 登志雄 京都産業大学 ギャラリー室長 (文化学部 教授)

略歴: 茨城県出身。1979年京都大学文学部国史学卒業。京都府教育委員会・京都造形芸術大学・京都美術工芸大学を経て、2018年京都産業大学文化学部教授。

21年客員教授、ギャラリー室長兼務。

文化財学、京都寺院史の専門家。大本山東福寺文化財顧問。東福寺にて25年以上にわたり文化財の調査をつとめている。

要旨: 市町村に於いて寺社文化財の整理・調査に基づく総合的管理データベースシステムの構築を進めることは、文化遺産の有効的管理、生涯学習支援、研究資源、観光資源、人口減少対策に役立ち、さらには大規模自然災害等の被害を最小限に止めることができます。土庄町にも八十八箇所霊場等多数の文化財がありますので、文化財デジタルデータをもとに京都と土庄町の場合について考えてみたいと思います。

